

テルアビブ-ヤッフォ市と交流協力を共同声明

～記念写真展「テルアビブのひと時」開催！～

平成 24 (2012) 年は、昭和 27 (1952) 年に日本とイスラエルが外交関係を樹立して 60 周年となります。テルアビブ-ヤッフォ市長と林文子横浜市長がこの機会に会談し、共に成長することに向け、世界の平和と発展に貢献することを目指して、両市の交流と協力を深めていくことを共同声明することになりました。

また、日本イスラエル外交関係樹立 60 周年及びテルアビブ-ヤッフォ市との交流を記念し、イスラエル屈指のフォト・ジャーナリストであるズィブ・コレン氏の写真展「テルアビブのひと時」が開催されます。

1 交流協力の共同声明について

- (1) 日時
平成 24 年 9 月 5 日 (水) 10:20～10:45
- (2) 場所
市庁舎 2 階応接室
- (3) 出席者
横浜市長 林 文子
テルアビブ市長 ロン フルダイ氏
駐日イスラエル大使 ニシム ベンシトリット氏
イスラエル国名誉領事 野呂田芳成氏 ほか
- (4) 共同声明次第
①共同声明署名 ②写真撮影 ③挨拶
- (5) その他
お手数ですが、取材いただける場合は、9 月 4 日 (火) 16 時までに、
政策局国際政策課(045-671-3813) まで御連絡ください。

2 写真展「テルアビブのひと時」概要

- (1) 名称
ズィブ・コレン写真展「テルアビブのひと時」
- (2) 主催
テルアビブ市 (後援: イスラエル大使館、横浜市、横浜高速鉄道株式会社)
- (3) 日時
○オープニングセレモニー
平成 24 年 9 月 5 日 (水) 11 時～11 時 30 分
★取材の方は当日直接会場受付へ
○写真展
平成 24 年 9 月 5 日 (水) ～平成 24 年 9 月 18 日 (火)
毎日駅の営業時間中常時観覧可能です。入場は無料です。
- (4) 会場
みなとみらい線「日本大通り駅」三塔広場
- (5) 趣旨
日本イスラエル外交関係樹立 60 周年及び横浜市とテルアビブ-ヤッフォ市の交流を記念し、テルアビブ-ヤッフォ市の多様な魅力を紹介する。

お問い合わせ先

政策局国際政策課長 三枝 忠裕 Tel 045-671-2068

■テルアビブ市について

1909年、テルアビブは地中海沿岸の砂丘に建設されました。

今日、イスラエルのビジネスの中心地となったテルアビブは、600社を超える技術系企業のホームタウンであり、世界をリードする“起業都市”としても知られています。

年間日照日は300日、14キロにわたる砂浜があり、常に国内の文化、芸術、ナイトシーンを牽引し、3人に1人が18歳-35歳という若さあふれる街です。

テルアビブ-ヤッフォ市は、その寛容さと多元主義で知られており、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教などの宗教家と世俗的な人々、若者と高齢者、また移民によって構成されています。

1948年のイスラエル建国後、テルアビブは、世界最古の港町として有名な隣町のジャッファ（ヤッフォ）を統合しました。

※正式名称は、テルアビブ-ヤッフォ市です。

■ズィブ・コレン氏のプロフィール（イスラエル大使館より）

ズィブ・コレン氏は20年前にイスラエル国防軍のカメラマンとしてキャリアをスタートさせたイスラエル屈指のフォト・ジャーナリストです。

今日、彼はイスラエルで最も人気のある新聞『イスラエル・ハヨム』の写真を撮っています。そしてイスラエルのフォト・エージェンシー「ポラリス・イメージ」の代表として、またヨーロッパの“キヤノン大使”としても活動を展開しています。

ズィブ・コレン氏の写真は、様々なプロジェクトや、タイム、ニューズウィーク、サンデータイムズマガジン、シュテルン、シュピーゲル、パリマッチ、ル・フィガロ・コリエール・デ・ラ・セーラ、Wired等、多くの国際的な出版物に掲載されています。

■交流協力の共同声明について

本市は、これまで、市民交流が中心の姉妹・友好都市や、行政課題をテーマとするパートナー都市と都市間交流を進めてきました。

また、これとは別に、できることから交流・協力を進めている都市もあります。例えば、最近の例では、ソウルとの職員交換を今年度始める予定です。

今回の「交流協力の共同声明」は、このできることから始める交流・協力の合意を、「共に成長する」理念を共有する共同声明という形でアピールする第一号となります。